

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ふくや新物流センター新築工	階数	地上3F
建設地	福岡県福岡市東区社領3丁目9-1.9-2.9-3.9-4.9-5.9-6.9-7	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	30人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,640時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年5月 予定	評価の実施日	2017年4月28日
敷地面積	7,778.42 m ²	作成者	戸田建設九州支店設計室 江野慎吾
建築面積	5,436 m ²	確認日	2014年5月2日
延床面積	6,934 m ²	確認者	戸田建設九州支店設計室 荒木英次



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

92 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.7

3 設計上の配慮事項		その他
総合 本建物はめんたいこの配送センターである。 配送センターの事務部分は、外皮の高気密・高断熱化を行なっている。(屋根・外壁) 開口部は断熱性能の高い仕様としており省エネ配慮を行なっている。 また、施設は屋上緑化と太陽光パネル発電を配し、環境への配慮と建物の省エネ化の取り組みを行っている。		特になし
Q1 室内環境 一部の外装材は金属断熱サンドイッチパネル、屋根はダブルバック折板屋根とし、外気負荷の低減を図っている。	Q2 サービス性能 建物の維持管理、清掃性、防汚性、耐久性を考慮した仕上材料及び設備仕様としている。	Q3 室外環境(敷地内) 屋上緑化を配し、環境への配慮と建物の省エネ化の取り組みを行っている。
LR1 エネルギー 設備システムの効率化により、BEIm=0.35と効率的な計画としている。	LR2 資源・マテリアル リサイクル材の積極採用(高炉セメント・再生砕石等)を図っている。 また、構造種別は鉄骨造(外壁乾式工法)とし、解体時や更新時にも容易な構造としている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が、一般的な建物(参照値)に対して50%以下とし、地球温暖化への配慮を行っている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される